

昭和61年度

帰国研修員フォローアップチーム報告書

——公開技術セミナー——

(都市計画)

JICA LIBRARY



1065718E7J

17726

昭和62年5月

国際協力事業団
研修事業部

国際協力事業団

17726

はじめに

本報告書は、帰国研修員フォローアップ事業の一環として昭和 61 年度に実施することとなった 6 分野の公開技術セミナーの内、フィリピン及びインドネシアの 2 ヶ国に派遣した都市計画の分野の巡回指導公開技術セミナー班の業務報告を取りまとめたものである。

帰国研修員に対する巡回指導は、従来特定集団コースの帰国研修員を主として対象に実施してきたが、昭和 61 年度からこれに加え指導領域を特定コース分野に限定せず、これに隣接する関連分野にまで拡げ、又対象者を帰国研修員にとどめず、帰国研修員の所属先及び関連機関の関係者を含めることにより、より大きな指導効果を上げることを目的とした公開技術セミナーを実施することとなったものである。

本件都市計画分野の巡回指導公開技術セミナー班の派遣に当っては、集団研修「都市計画コース」と「総合都市交通施設計画コース」とを対象とし、3 月初旬、派遣メンバーの入選決定、同月中旬初会合を経て、4 月初旬の出発という急なスケジュールであったため、事前準備等十分な時間的余裕のない状態での派遣となったにもかかわらず、初年度としては、一定の成果を上げたものと思われるが、今後検討を要する点も多くあり、今回の経験を踏まえ、さらに充実したセミナーの実施に向け努力する所存である。

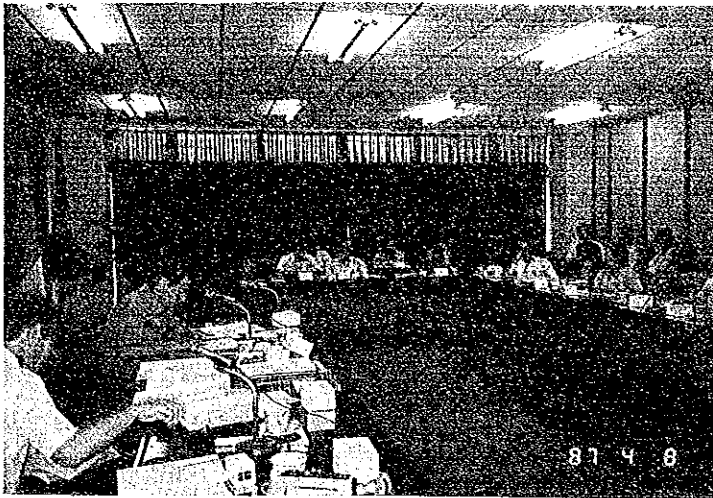
今回の同セミナー班の派遣に当って、外務省、建設省、文部省、広島県及び派遣国において指導賜った在外公館、JICA 派遣専門家、JICA 帰国研修員同窓会並びに各国政府関係機関各位に深甚なる謝意を表する次第である。

昭和 62 年 5 月

国際協力事業団

研修事業部

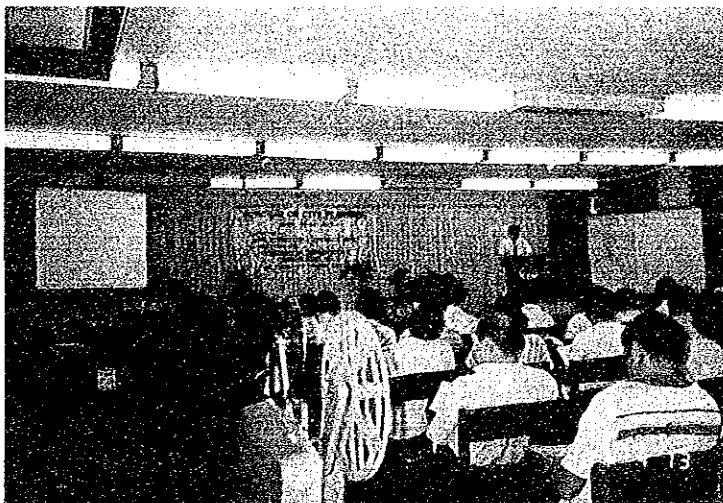
部長 岡部 和夫



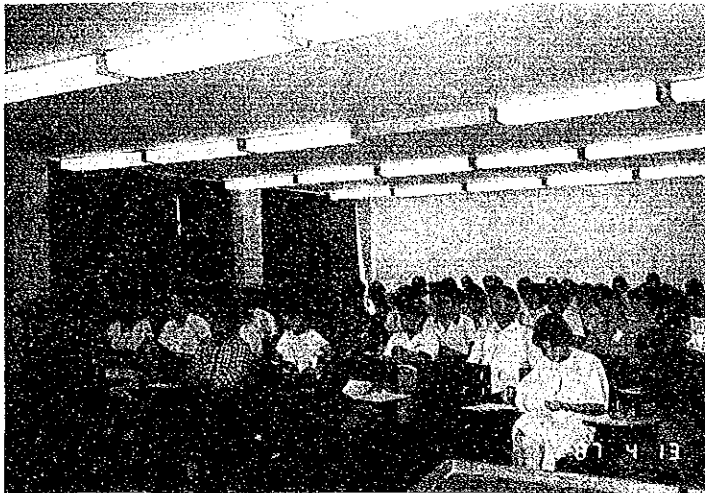
写真左；
インドネシア（ジャカルタ）
における公開技術セミナー
公共事業省人間居住総局
会議場にて



写真右；
右から公共事業省人間居住総局
SUYONO 計画局長
古池 団長
萩原 団員
稲垣 団員



写真左；
フィリピン（ケソン）における
公開技術セミナー
フィリピン大学内
Transport Training
Center にて



写真左；
フィリピン（ケソン）における
公開技術セミナー

セミナー会場内



写真右；
＜インドネシア＞
大統領府内閣官房
技術協力課表敬訪問



写真左；
＜フィリピン＞
国家経済開発庁
表敬訪問

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 巡回指導公開技術セミナーの実施背景及び目的 | 1 |
| 2. 派遣国及び派遣期間 | 1 |
| 3. チーム構成 | 1 |
| 4. 詳細日程及び調査活動 | 2 |
| 5. 調査結果（訪問先での質疑内容と技術指導，意見交換） | 3 |
| (1) インドネシア | 3 |
| (2) フィリピン | 3 |
| 6. セミナー実施結果 | 4 |
| (1) インドネシア | 4 |
| (2) フィリピン | 6 |
| 7. 結 論 | 8 |
| (1) 概 要 | 8 |
| (2) 成 果 | 8 |
| (3) 今後の課題と具体的な提言 | 8 |
| (4) 帰国研修員及び所属先に対するヒアリング | 9 |
| (5) セミナー参加者に対するアンケート調査結果（フィリピンのみ） | 10 |

1. 巡回指導公開技術セミナーの実施背景及び目的

従前の巡回指導は、専ら特定の集団研修コースの帰国研修員を主として対象に実施してきたが、今後これに加え、指導領域を特定コース分野に限定せず、これに隣接する関連分野まで拡げ、かつ対象者も帰国研修員にとどめず、所属先関係者は勿論のこと、関連機関の者まで含め、より大きな指導及び影響効果を上げることを目的として昭和 61 年度から本件セミナーチームの派遣が実施されることとなった。

本件都市計画分野の巡回指導公開技術セミナーチームは、我が国実施の都市計画コース及びそれに関連した総合都市交通施設計画コースの 2 つの集団研修コースを対象とし、両コース帰国研修員のみならず、各国における当該政府関係機関担当者に対し講演、討論を通じ、我が国の技術情報を紹介すると共に、各国における当該分野の問題点において明確にし、その改善点を探ることにより各国が抱えている諸問題の解決の指針を提言し、併せて当該分野における帰国研修員等セミナー受講者の意見を聴取することにより、同分野の研修コースの改善に資することを目的とする。

2. 派遣国及び派遣期間

- (1) 派遣国：インドネシア及びフィリピン
- (2) 派遣期間：昭和 62 年 4 月 5 日～同年 4 月 16 日（12 日間）

3. チーム構成

- (1) 団長（総括、総合都市交通施設計画分野）古池弘隆
宇都宮大学工学部土木工学科主任教授
- (2) 団員（都市計画分野）萩原達朗
広島県土木建築部都市局都市計画課長
- (3) 団員（業務調整、技術協力）稲垣瑞夫
国際協力事業団研修事業部研修第一課

4. 詳細日程及び調査活動

| 日順 | 月 日 | 曜日 | 行 程 | 調査活動及びセミナー実施内容 |
|----|------|----|---|---|
| 1 | 4/ 5 | 日 | 成田 (11:00) → ジャカルタ (16:05) | |
| 2 | 4/ 6 | 月 | JICAインドネシア事務所訪問 大統領府内閣官房技術協力局国際技術協力課 国際技術協力課訪問 | JICA 遠藤所長及び佐々木所員よりインドネシア情報及びスケジュール説明を受ける。研修成果、研修システムの希望等について意見交換 |
| 3 | 4/ 7 | 火 | 公共事業省人間居住総局 ベンジャリンガン都市再開発プロジェクト視察 ブカニニュータウン開発プロジェクト視察 地方計画開発庁 | 計画局長表敬及び意見交換 住宅総局の都市住宅建設プロジェクト視察 ブカニ地域総合新都市開発プロジェクト視察 ジャカルタ首都圏計画局長表敬及び意見交換 |
| 4 | 4/ 8 | 水 | 運輸省陸上運輸総局訪問 公共事業省人間居住総局にてセミナー実施： 1. 講義：“都市計画－広島市のケーススタディ” 質疑応答 2. 講義：“都市大量輸送の新傾向” 質疑応答 | 陸上運輸局長表敬及び意見交換 計画局長の司会によりセミナー実施： 講師：萩原達朗 分野：都市計画 講師：古池弘隆 分野：総合都市交通施設計画 |
| 5 | 4/ 9 | 木 | ジャカルタ (11:00) → シンガポール (15:25) | |
| 6 | 4/10 | 金 | シンガポール (11:00) → マニラ (14:15) JICAフィリピン事務所訪問 在フィリピン日本大使館訪問 | JICA大島次長とスケジュール調整 神長一等書記官表敬 |
| 7 | 4/11 | 土 | フィリピン大学 Trnsnsport Training Center (T.T.C.) 訪問 | セミナー実施会場、視覚教室視察 セミナーの実施方法及び会場設営について JICA大島次長、同センター副局長と協議。 |
| 8 | 4/12 | 日 | 予備日 | セミナー事前準備 |
| 9 | 4/13 | 月 | フィリピン大学 T.T.C. にて公開技術セミナー実施： 1. 開講式 JICA宮本所長 T.T.C. 所長、運輸省次官補の挨拶、司会：稲垣瑞夫 2. 講義：“都市計画－広島市のケーススタディ” 講師：萩原達朗 質疑応答 古池講師、宮城、中村 JICA 専門家参画。 3. 映面上映「JICA24時間」 JICA 事業について紹介 4. 帰国研修員との懇談会の実施 都市計画コース及び総合都市交通施設 計画コース帰国研修員との懇談会実施 | |
| 10 | 4/14 | 火 | フィリピン大学 T.T.C. にて公開技術セミナー実施： 1. 講義：“都市大量輸送の新傾向” 質疑応答、総括 2. カクテルパーティの実施 | 講師：古池弘隆 萩原講師、宮城、中村 JICA 専門家参画 セミナー参加者及び関係者全員出席 |
| 11 | 4/15 | 水 | 国家経済開発庁訪問、公共事業省訪問 古池団長帰国マニラ (14:50) → 成田 (19:35) | カスンガ課長表敬、計画課長表敬 |
| 12 | 4/16 | 木 | マニラ (04:50) → 成田 (19:35) | |

5. 調査結果（訪問先での質疑内容と技術指導、意見交換）

(1) インドネシア

<訪問先及び討議内容>

当国においては、選挙運動期間内の集会禁止令のため、帰国研修員との会合が持てず、残念であった。（但し、セミナー実施時には3名が出席した。）

しかしながら、帰国研修員関連機関のうち、大統領府内閣官房技術協力局国際技術協力課、公共事業省人間居住総局計画局長、ジャカルタ首都圏計画局長、及び運輸省陸上運輸総局陸上運輸局長等をそれぞれ表敬訪問し、意見交換を行った。その席上述べられた研修の評価や今後の要望としては次のことがあげられた。

- ・全体的に見ると、人材開発という観点で、職員の資質の向上に役だっている。
- ・日本における研修を通じて見聞を広めることによってインドネシアでの各々の業務にその経験が反映していると確信している。一般に帰国後も政府機関から離れる者はほとんどない。
- ・帰国研修員は、自信を深め、それが仕事の質的向上に反映している。
- ・帰国研修員の得た知識を広く他の人々に伝えるための機関内でのセミナーの必要性があげられた。
- ・都市計画、総合都市交通施設計画の両コースへのインドネシアからの割当枠が1名であるので、もっと増やしてほしい旨の要望があった。（G. G. ベースでの要請は、インドネシア政府予算の制約により本年度は困難である旨発言があった）。
- ・両コースのカリキュラムの中に、技術的な問題ばかりでなく、行政や経営の分野をもっと導入してほしい旨の要望があげられた。（施設整備後の管理の仕方についても含めてほしい）。
- ・研修で紹介されるプロジェクトは成功例ばかりであるが、失敗例も挙げてもらおうと参考になる。
- ・各国から集まる研修員のレベルの差が大きく、特にインドネシア人は英語が不得手であるため、出来るならば、インドネシア人だけのコースを設けてほしいとの要望もあった。（個別研修での対応説明）。（研修員間の資質のアンバランス解消の努力が必要）。
- ・その反面いろいろな国からの参加者間の情報・意見交換にも十分な意義を見い出している。（従って、カンントリーレポート発表会の継続的必要性はある。）

総じて、どの研修員派遣機関でも、他国の類似の研修プログラムに比べ、JICAの研修コースの評価は高く、感謝していることが伺われた。

(2) フィリピン

<帰国研修員との懇談会における討議内容>

第1日目のセミナー終了後、帰国研修員を交えて懇談会を行った。

事前通報による周知徹底を図る時間的余裕がなかったため、参加者は、都市計画分野1名、総合都市計画分野2名、都市交通セミナー分野1名の計4名であった。(セミナー実施時には都市計画分野でもう1名が途中参加した)。

討議内容としては、次のようなものがあげられた。

- 日本での研修は、非常に有益であり、機会があれば、再度リフレッシャーコースに参加したという希望が全員より提示された。
- 研修コース(ここでは、都市計画コース、総合都市交通施設計画コースを主にさす)における参加時の共通の問題点及び要望。

研修コースにおける各講義の関連性が必ずしもよく取れていない。違った講師がきて首尾一貫性がない。講義内容の重複が多い。講師間の連絡がなされていないのではないかと。講師の英語力不足による時間のロスが大きい(通訳介在による二重手間のため)。テーマを絞って、プロジェクトの開始から評価に至るまでのケーススタディを導入してほしい(失敗例の紹介も含めて)。講義内容が最先端なものとなりがちなので途上国に適用可能なもの(特に経済性に合ったもの)を要望したい。研修旅行中の研修は、各々の機関関係者が直接担当するのが望ましい。見学旅行の比重を増やしてもらいたい。実際に役に立つ研修の成果をあげるためには、現場に入って実施研修を経験することが真の技術移転につながる道ではないか。研修員の資格要件を明確にし、講義内容を整合してほしい。

以上、批判や要望が寄せられたが調査団の感想では、折角研修を受けて帰国しても、その知識や経験を必ずしも他の人々に伝播していないよう見受けられた。

6. セミナー実施結果

(1) インドネシア

- (1) 実施日時：4月8日 11:00～15:00
- (2) 実施場所：公共事業省人間居住総局会議室
- (3) 実施方法：

当初3月23日から4月23日までの総選挙期間中には、如何なる集会会合も禁止されている由であったため、セミナーの開催も危ぶまれていたが、開催前日の公共事業省人間居住総局計画局長表敬の際、本件事務説明の結果実現が可能となった。当日は計画局長の司会により、講師2人がスライドやOHPを用いてセミナーを実施した。約45人の参加があり、昼食をはさんで行われた。

(4) 実施結果

イ. 講義内容と結果

まず、萩原講師が都市計画分野として本セミナー用に作成したテキストをもとに「都市計画－広島市のケーススタディ」と題して講義を行った。当初日本の都市計画制度全般と広島市の都市計画の紹介を予定していたが、時間の制約により本件内容の講義を行った。その中で総論として、日本における都市計画法や都市計画決定のプロセス用途地域制など、日本の都市計画の手法を紹介した。次いで日本における都市の現状や問題点について述べ、都市再開発プロジェクトや土地区画整理について説明を行った。そして広島市に例をとって実際のケーススタディをスライドを用いて戦後の復興から現在の状況までを紹介した。

次いで、昼食後に古池講師が総合都市交通施設計画の分野として「都市大量輸送の新傾向」と題して講義を行った。まず、日本における都市交通の歴史をモード別に概括し、都市化とモータリゼーションをもたらした都市交通問題について述べた。続いて都市における大量輸送機関の果たすべき役割、また今後実用化が期待される新しい交通機関について述べ、名古屋の基幹バスや建設省のガイドウェイバス、またLRTなどについて紹介した。スライドやOHPを用いた講義の所要時間も約1時間半であった。

ロ. 質問内容と回答（技術指導）

質疑応答は、講義の後行われた。まず都市計画については、市街化区域と市街化調整区域との違い、都市再開発法、プロジェクトの企画から実施までの手順、財政問題特に中央政府の係わり、ニュータウン建設の進め方、区画整理手法と財源問題、また今後の広島市の発展方向、下水道敷設計画、建設費、フィージビリティの評価基準についての質問があったが、スライド、テキスト等を用いて説明。

後半の都市交通施設計画では、日本とインドネシアの都市交通施設の違いについての印象を求められ、また、現在ジャカルタで進行中のジャボタベク鉄道改善計画に関連した質疑がなされた。これに対するコメントとしては、財政面で外国からの資金援助に伴う困難さが指摘された。また、他の東南アジアの諸都市、例えばマニラやシンガポールでは、LRTを導入したが、ジャカルタでは、鉄道を選んだ背景が話題に上がった。鉄道の利用率が低いこととサービスレベルとの関係、特に平面交差が多いことによる速度低下や踏切事故の問題にも触れられた。

ハ. 全体の講評

集会禁止令の中、どの程度のお出席者が期待できるか危ぶまれたが、幸い予想以上の参加者があり、講義の後に質問が続出し、非常に活発な討議が行われた。本件実現に当たっては、公共事業省計画局長の好意ももちろんであったが、同省総務課長パナルト氏（JICA

帰国研修員同窓会副会長)の多大な支援があったことを付記したい。

[2] フィリピン

1. 実施日時：第1日目 4月13日 10:00～15:00
第2日目 4月14日 10:00～15:30
2. 実施場所：フィリピン大学交通訓練センター(TTC)講堂
3. 実施方法：

第1日目

10時から開講式が催され、国歌斉唱の後、稲垣団員の司会により、JICAフィリピン官本所長、TTC所長、運輸省次官補の挨拶があり、一旦休憩に入った。休憩後、荻原講師が講義を行った。昼食はビュッフェ形式で行われ、昼休みの間「JICA 24時間」を上映した。

午後は、講師団と中村及び宮城JICA専門家を交え質疑応答と一般討議が行われた。この質疑は前もって参加者から質問を書面で集め、司会者が代表して質問する形式をとった。このため質問の内容をもかなり高度なものであった。セミナー終了後帰国研修員との懇談会を実施した。

実施結果

イ. 講義内容と結果

都市計画については、本セミナー用テキストに沿って日本の都市計画制度全般と広島市のケーススタディについて、荻原講師が約2時間にわたって講義を行った。主としてマニラ首都圏において多核心型の都市づくりが進められており、交通計画、都市づくりの手法等の参考となる講義であった。

ロ. 質問内容

日本の土地所有制度。都市計画及び都市計画事業に対する民間の係わり方。土地区画整理事業や都市再開発事業は都市整備手法として有効であるも、かなりコストがかかると思われるが、途上国への応用の可能性について。日本の都心部における駐車場問題とその対策について。日本の発展を支えてきた要因について。広島の様々な都市計画プロジェクトの中で予算配分の考え方について。原爆によって完全に破壊された広島の再構築はどのようになされたか。都市計画の策定及び事業実施において生じる問題としてはどのようなものがあり、又、その対策はどうか。計画策定時に、そのプロジェクトの効用と同時に生じるであろうマイナス要素(環境問題)を考慮しているか。又、そのマイナス要素にはどのような対策を講じているか。工業開発に関する国の基本的考え方。ゾーニングシステム(線引き、用途地域等)の運用の仕方は厳密に実施されているか。都市施設(道路公園等)の用地取得について市民の協力はどうか(合意方式あるいは強権

力)。

都市再開発事業において土地の所有権を建物の所有権に一部変えていくことは本当に可能か、地権者の理解が得られるか、その後、所有者は売買可能か。

都市計画における警察の役割について、計画準備段階と実施段階の調整の問題及びプライベートセクターの役割についての質問があった。特に、都市再開発の手法としての区画整理や等価交換方式などに関心が集まった。広島が原爆の被災都市であることが都市計画上でどのような影響があったかという質問が行われ、講師からは他の戦災を受けた都市同様に戦災復興計画についての説明があった。又環境問題についての関心も高かった。

第2日目

10時から古池講師が講義を行った。午前中約2時間の講義を行い、午後は前日同様、講師団と中村及び宮城JICA派遣専門家を交え質疑応答と一般討議が行われた。前日にも増して議論が沸騰し、予定の時間を超過して午後3時半に終了した。

午後4時からJICA主催でレセプションを実施した。

なお、本セミナー参加者には、修了証書(Certificate)を手交した。

実施結果

イ. 講義内容と結果

総合都市交通施設計画分野での講義は、全体としては、インドネシアの場合と同様であったが、マニラにおけるケーススタディとの比較が付け加えられた。フィリピンでは、伝統的なカロッサ(馬車)から最新式のLRT、さらにフィリピン独特のジブニーなどの多様なモードの交通機関が混在しユニークな交通状況を呈している。このことと日本との比較を述べた。

ロ. 質問内容と回答(技術指導)

総合都市交通施設計画分野については、大都市と地方都市の交通問題の違いや都市交通施設の建設財源問題についての質問があった。前者の質問に対しては、戦災復興による中心部の再開発の例をあげ、大都市での地下鉄などの公共交通の普及と地方都市のモータリゼーションによる道路混雑の例があげられた。又、後者の質問に対しては用地取得費が全体の建設費に占める割合が示された。そのほかマニラの交通計画に関してJICAの果たしている役割がLRTの延長線や2番目の計画線の調査を例に説明された。細かい質問では名古屋の基幹バスのルートの位置が路側車線と中央分離帯の両方の位置に設けられていることについてその比較を尋ねられた。又、地価の高い大都市中心部に置ける駐車方式についての質問では駐車場の設置義務、立体駐車場の仕組みや、最近の路上駐車規制状況などについての説明を行った。講師団からも、マニラの交通状況についての質問がなされ活発な討議が行われた。

ハ、全体の講評

2日間にわたるセミナーは、格調高い公開セミナーとして実施できた。出席者は延べ約100人(1日平均約50人)であった。開催日の前日まで出席見込み人数が不確実であったが、当初予想していた以上の参加者があり政府関係者の出席も多く、セミナーは、盛況であった。質疑や討論が活発に行われ予定の時間を超過するほどであった。本セミナーの開催については、TTCの全面的な協力が得られた。特にJICAフィリピン事務所大島次長、TTCへのJICA派遣専門家中村氏及び宮城氏、並びにTTCのカセス次長(帰国研修員)等には多大なご支援をいただいたことを申し添えたい。

7. 結 論

(1) 概 要

今回のインドネシアとフィリピンの両国における巡回指導公開技術セミナーは、二つの目的を合併したもので、この種のものとしては初めての試みであった。従来行われてきた帰国研修員対象のフォローアップ巡回指導と、日本における当該技術分野における最新の情報を紹介する公開技術セミナーの開催は、それぞれに重要な機能であり、派遣チームはその重責を痛感した。

しかも、今回は準備期間が非常に短かったため、両国の政府関係機関に十分な周知徹底を図る時間的余裕がなかった。特に、インドネシアは総選挙による集会禁止令のもとでという悪条件であった。このため、JICAの現地事務所には、多大の負担をお掛けしてしまったのではないかと考えている。

(2) 成 果

今回のフォローアップ・スタディでは、3月初旬に派遣メンバーの入選が行われ、3月中旬の初会合を経て、4月はじめの出発という急なスケジュールであった。このため、両国におけるセミナーは、事前準備、事前通報など時間的余裕が全く無い状態であったにもかかわらず、初年度としては、予想以上の成功を納めたと思われる。しかし、目的の一つであった帰国研修員とのインタビューは参加者が少なく、十分な討議がなされなかった恨みが残った。これを補う意味で、研修員を派遣した政府関係機関におけるヒアリングは、限られたものであったが有意義であった。

(3) 今後の課題と具体的な提言

公開技術セミナーについて

今後同種のセミナー開催に当っては、以下の事項を検討の上実施することが望まれる。

(1) 事前準備

今回の場合、通常の巡回指導方式としても事前準備等に時間的、時期的に実施上困難を伴うことは予想されたことであつたが、少なくともセミナーの企画、関係機関との根回し、募集等に6カ月程度の時間を要すると思われる。セミナー用の資料、視聴覚教材、テキスト等の開発・準備には3カ月程度を見込む必要がある。

(2) 現地側の対応

事前通報から運営まで、JICA在外事務所、先方政府関係機関、帰国研修員及び同窓会等に対し、根回しの上、少なくとも2カ月前には、実施要領を作成して実施方法を確定しておく必要があると思われる。

(3) 公開技術セミナーの分野及び開催地の選定

当該技術分野について、どの程度の範囲までカバーすることとなるかを明示し、また、その分野での講演を担当できる人材の確保が望まれる。

更に、開催地の選択に当たっては、当該技術分野でのセミナー実施上の効果の点で影響力があることが望ましい。それ故、そのための事前調査をする必要がある。

(4) 実施要領の確定、作成、送付

公開技術セミナーは、従来の巡回指導とは異なり、先方政府関係機関の協力を得て実施する必要がある。協力依頼、事前協議、参加対象者へのインフォメーション作成・送付、会場の選定等事前了解を得て実施することになるので、公開技術セミナーの具体的実施マニュアルを作成し、共通の文書、手順につき完成させておくことが望まれる。

(5) 現地事情に適したセミナーの実施

先方政府側との事前調整によって、先方側のセミナー参画につき役割分担を明確にしておく必要がある。総花的に共催機関を多くすると役割分担が不明瞭になるおそれがある。

(4) 帰国研修員及び所属機関にたいするヒアリング

(1) 研修内容について

講義カリキュラムの再編成を検討する必要がある。特に現在行われているように講師が各機関から派遣されている状態では、内容について十分な連絡調整がむずかしいのではない。また、講師については語学力の問題のある場合があり、通訳を介するため能率が悪くなっていることがある。

総花的に多くの分野をカバーするのも良いが、テーマを限定してプロジェクトの計画段階から実施・事後評価まで一貫して概観するプログラムも有用ではないかとの意見もあつた。また、成功した事例ばかりでなく、失敗例も今後研修員がそのような失敗を回避するためにも必要であろうと思われる。

(四) 見学旅行について

研修の一方の中心をなす実地見学については、研修員の評価は高く、もっと見学を増やして欲しいという要望があった一方、ただ表面的に見るだけではなく、実際に関係機関に入って実地研修を経験したいという希望もあった。

(五) 帰国研修員の二次的情報伝達について

これは全てのケースに当てはまることではないと思うが、帰国研修員の中には研修で得た知識を自分の資産と考え、同僚への研修知識の二次的伝播に消極的な人もいるようである。公開技術セミナーは短時間ではあるが多くの人に当該技術分野の最新情報を広めることが可能である。また、TTCの様な現地教育・訓練機関も、同様な目的をより長期にまた広範に達成することが出来る。

(6) セミナー参加者に対するアンケート調査結果(フィリピンのみ)

(イ) JICA研修の目的

- ・新技術の習得
- ・人材開発
- ・技術移転
- ・応用可能な技術知識の修得

(ロ) JICA研修後に期待することは何か。

- ・技術の応用
- ・所属先の他のスタッフに与える知識及び情報
- ・各々の業務内容において積極的参画
- ・よき教師及び研究者になってほしい。

(ハ) JICA研修の研修達成に関するコメント

- ・応用は疑問点あり
- ・新技術の習得(知識、考え方、情報)
- ・都市交通計画の目的及び展望を得た
- ・研修計画の作成、研究、相談に活発な活動を行うことが可能。

(ニ) 帰国研修員の他のスタッフに与える効果的貢献は何か。

- ・JICA研修員は、研修中に得た新傾向等のテキスト、資料の図書室寄贈。
- ・国内あるいは、外国支援のプロジェクトに係わる主要メンバーとなること。
- ・日本の研修体験を部内のセミナーを通じ他に分け合うこと。

(ホ) 同分野での過去5年における顕著な変化はあるか。

- ・変化は激しくはないがある。例として、土地所有の問題、ビューロクラシーの問題。関係機関間の調整と開発の問題。

- 政治的社会的混乱がプロジェクト遂行に影響。
 - 政府の政策計画について国民が参画するか少なくとも注目し始めている。
- (ト) JICA研修で実施すべき必要とされるプログラム、科目は何か。
- Transport Modelling and Forecasting
 - Environmental Planning and Management
- (ト) 日本での研修に要望することとは何か。
- 再研修を2週間以上要望したい。
 - 上級コースがあれば、参加を希望したい。
 - 土地利用計画及び交通計画においてコンピューター適用を要望したい。
- (フ) 今回のセミナーは有益だったか。
- はい 19人
- いいえ 1人(但し、現在の経済情勢では、技術移転が無理という点で)
- (フ) セミナー参加者は適当か。
- 適当である … 7人
- 適当でない … 1人(もっと他の機関に門戸を開放してほしい。)
- (フ) セミナーに講師として参画可能な人物はいるか。
- いる … 5人(都市計画、都市交通計画の分野ともフィリピンスタイルで可能)
- いない … 3人
- (フ) セミナー以外でのフォローアップ活動に要望があるか。
- 可能ならば、日本でのセミナー実施を要望。
 - 帰国研修員は「Look Japan」「Kenshuin」の送付を受け、JICAの広報活動に貢献したい。
 - 文献の送付要望(具体的内容なし)



JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Japanese Embassy Compound
24, Jalan Thamrin, Jakarta, Indonesia

Tel. 322387, 324247, 326818, 321394
Telex, 44198 JICA IA

Jakarta, April 8, 1987

No.

TO WHOM IT MAY CONCERN

Brief Report of the Follow-Up Team for Ex-Participants in the Courses of "City Planning" and "Comprehensive Urban Transportation Planning"

1. Introduction

It is our greatest pleasure to have the opportunity to visit Indonesia as the Follow-Up Team for Ex-Participants of the Group Training Courses in "City Planning" and "Comprehensive Urban Transportation Planning".

As it is well known, Japan International Cooperation Agency (JICA) has conducted a number of training programs in various fields, and JICA has been sending follow-up teams to the participating countries in order to improve these programs.

JICA accepted 242 participants from 56 countries including 17 participants from Indonesia for 25 years, in the course of "City Planning" and 90 participants from 23 countries including 7 participants for 8 years in the course of "Comprehensive Urban Transportation Planning".

Before leaving this countries, we submit a brief report based on our activities for 3 days.

2. Objectives of the Follow-Up Team

The Follow-Up Team visits Ex-Participants' organizations and related organs for the purpose of exchanging opinions and offering latest information in the above mentioned fields as well as improving these training programs.

3. Team Member

- a. Dr. Hirotaka KOIKE : Professor,
Department of Engineering,
Faculty of Civil Engineering,
Utsumomiya University.
- b. Mr. Tatsuuro OGIHARA : Director,
City Planning Division,
City Bureau,
Hiroshima Prefecture.
- c. Mr. Mitsuuo INAGAKI : Training Officer,
First Training Division,
Training Affairs Department,
Japan International Cooperation Agency.

4. Team's Activities

During our stay, we were able to see some Ex-Participants and a number of people involved. (As for the name of the people we met, see the list attached in the last part of this report).

5. Findings and Opinions from Ex-Participants and People Concerned

As a result of the questionnaires and interviews with the Ex-Participants and authorities concerned, our team wishes to give the following impressions :

- 1) We have confirmed that the Ex-Participants have been doing their best in their respective duties through their experiences and knowledge which they have acquired in these courses in Japan.
- 2) Both city planning and urban transportation planning are the areas of great concern for organizations we visited and they appreciated the need to have their staff trained in these two areas.
- 3) Most of Ex-Participants play an important role in the fields of city planning and urban transportation planning.
- 4) It was suggested that the course curriculum should include administrative and managerial aspect of city planning and urban transportation planning as well as the technical matters which are covered in the present courses.

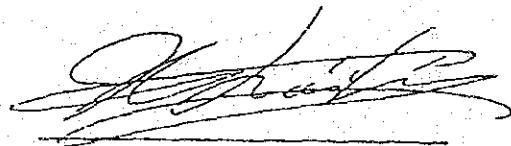
5) Requests to increase the number of participants from Indonesia were raised and we will inform JICA Headquarters regarding this matter.

Our meeting with Ex-Participants and Government Officials were cordial, frank and deep enough to find many constructive comments and suggestions.

We are very happy that we were able to have the special lectures and discussions in Indonesia and it was highly appraised by the attendants.

We would like to express our deepest gratitude to the people we met and authorities concerned, especially Ministry of Public Works, Ministry of Transportation, Secretariat Cabinet, Regional Planning Development Agency, JICA Indonesia Office and others for the warm welcome and kind cooperation to us during the period of our stay in Indonesia.

Jakarta, April 8, 1987.



Hirotaka KOIKE

Team Leader Follow-Up Team
for Ex-Participants in
"City Planning" and
"Comprehensive Urban Transportation Planning".

1. Secretariat Cabinet

Mr. Wahid Salim : Deputy Head,
Bureau of Technical Cooperation.

Mr. Noer Bahri : Bureau of Technical Cooperation.

2. Ministry of Public Works

Ir. S u y o n o : Director of Planning,
Directorate General of Human Settlements.

Ir. J.P. Hendro Pranoto : Director of Planning and Programming,
Directorate General of Human Settlements.

Ir. Djuanda Djukardi : Director of Housing,
Directorate General of Human Settlements.

Ir. F.A. Rubiyanto : Director of Urban Road Development,
Directorate General of Highways.

Mr. Panarto Prawoto : Head, General Affairs Division,
Directorate General of Human Settlements.

3. B A P P E N A S (National Planning Development Agency)

Ir. P.P. Simatupang, MCRP. : Director,
Bureau of Communication and Tourism.

4. B A P P E D A (Regional Planning Development Agency)

Ir. H e r b o w o : Director, BAPPEDA DKI Jakarta.

5. Ministry of Transportation

Ir. Giri Suseno Hadihardjono : Director General of Land Communication.

INFORMATION SEMINAR
IN CITY PLANNING
13 - 14 APRIL 1987
IN MANILA

ORGANIZED BY :

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

IN COLLABORATION WITH :

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION AND COMMUNICATIONS
TRANSPORT TRAINING CENTER

INTRODUCTION

The rapid and excessive concentration of population in the urban areas have caused unfavourable situations and those are seen in many parts of the world in the form of problems of city sprawl, traffic congestion and other urban problems.

Under such circumstances, the authorities concerned are fighting to alleviate the tension of these urban problems. In this connection, JICA, the sole governmental agency for Japanese technical cooperation, is cooperating with developing countries in various areas including the improvement of city planning and urban transportation. Through its group training courses in i) City Planning ii) Comprehensive Urban Transportation Planning, JICA has invited the participants from the Philippines for their training in Japan.

As a part of the Follow-up Services, JICA has decided to send a team to the Philippines to organize a seminar in collaboration with relevant authorities of the Philippines in order to i) offer a brush-up opportunity to the ex-participants of the above-mentioned training courses as well as other interesting officials from the due sector, and to ii) exchange opinions about the main constraints for the improvement of the sector and the countermeasures to overcome them.

DURATION

13 and 14 April 1987

PLACE

Audio visual Room
Transport Training Center (TTC)
University of the Philippines
Diliman

LECTURER

Dr. HIROTAKA KOIKE:

Professor
Faculty of Civil Engineering
Department of Engineering
Utsunomiya University

Topic: New Trends in
Urban Mass Transit

Historical background and development of Urban Mass Transit. Its introduction due to the concentration of population and industries in the urban areas.

Information on City Planning System, Urban Development Works and Future Policy Direction in Japan, such as the need for an integrated coordination between mass rapid transit and other transportation facilities such as buses (location system and guideways)

Mr. TATSURO OGIHARA:

Director
City Planning Division
City Bureau
Hiroshima Prefecture

Topic: City Planning, Case Study
in Hiroshima

To show and explain, through the use of slides, the city planning problem in Hiroshima after the atomic bomb explosion, its growth and development up to the present from the administrative point of view.

PROGRAMME

As attached in Annex I

SEMINAR FEE

Free

EXPECTED PARTICIPANTS OF THE SEMINAR

1. JICA's ex-participants
2. The officials working for the organization which

JICA's ex-participants belong to

3. The officials in charge of technical cooperation
in the National Economic and Development Authority
4. Related Agencies

APPLICATION

List of Participants is to be transmitted to the
JICA Philippine Office not later than 10 April 1987

PROGRAMME

April 13 (Monday)

- | | |
|---------------|--|
| 9:30 - 10:00 | Inscription |
| 10:00 - 10:30 | Inauguration |
| | 1) Speech by Mr. MORIYA MIYAMOTO Resident Representative, JICA |
| | 2) Introductory Remarks by Dr. LEOPOLDO V. ABIS, NEC Director/ TTC Officer-in-Charge |
| | 3) Speech by Undersecretary MANUEL C. DOMINGO, DOTC |
| 10:30 - 12:00 | Lecture by Mr. Ogihara "City Planning - A Case Study in Hiroshima City" |
| 12:00 - 13:30 | Break |
| 13:30 - 14:30 | Open Forum on Lecture |
| 14:30 - 14:45 | Break |
| 14:45 - 16:45 | Group and Individual Consultation for the ex-participants of the group training courses: |
| | 1) City Planning |
| | 2) Comprehensive Urban Transportation Planning |

April 14 (Tuesday)

- | | |
|---------------|--|
| 9:30 - 11:00 | Lecture by Dr. Koike "New Trends in Urban Mass Transit" |
| 11:00 - 12:00 | Open Forum on Lecture |
| 12:00 - 13:30 | Break |
| 13:30 - 15:30 | General Discussion on this Seminar |
| 15:45 - 17:00 | Cocktail Party |

**LIST OF EX-PARTICIPANTS IN
COMPREHENSIVE URBAN TRANSPORTATION PLANNING
(INDONESIA)**

| Name | Duration | Organization and Position | Address |
|----------------------------------|--------------------|--|---|
| Ms. M.A. Ineke Sri Indrarini | 1986 10/ 9 - 12/ 6 | Project Officer, Directorate of Urban Road, Planning Directorate General of Highways | JL Cikajang 7, Kebayoran Baru, Jakarta Selatan |
| Mr. Achmad Darubakti | 1985 10/10 - 12/ 7 | Staff, Directorate of Urban Road Planning, Ministry of Public Works | JL Nangka Ujung 25, RT 011/RW02 Cipete-Utara, Jakarta-Selatan |
| Mr. Rachimat Effendi Achlii Drs. | 1984 10/13 - 12/ 8 | Staff of Urban Road Planning, Directorate of Urban Road Planning | Jl. Patimura 20, Kebayoran Baru, Jakarta Selatan |
| Mr. Hur Ushan | 1983 10/13 - 12/10 | Staff of Planning Bureau, Departement of Transport | Jalan Merdeka Barat 8, Jakarta |
| Mr. Darmanan Tas' an | 1981 10/15 - 12/12 | Assistant to the Bureau, Bureau of Communications, National Development Agency | 2, Jalan Taman Suropati, Jakarta |
| Mr. IR. M. Wahyu Adjie | 1980 10/16 - 12/ 6 | Head of the Traffic and Transport Section, Department of Public Works, Indonesia Road Research Institute | Jalan Raya Timur No. 264, Bandung |
| Mr. Seger Soewandi | 1980 10/16 - 12/ 6 | Directorate of Road Traffic, Department of Communication | JL. Fatahillh 3, Jakarta |

**LIST OF EX-PARTICIPANTS IN
CITY PLANNING
(INDONESIA)**

| Name | Duration | Organization and Position | Address |
|------------------------------------|--------------------|--|--|
| Mr. Manshadi Ridwan | 1984 8/ 9 - 10/20 | Head of Section, Sub Directorate of Information, Directorate of City and Regional Planning, Department of Public Works | JL. Raden Patah 1/1 Kebayoran, Baru, Jakarta |
| Mr. S. Ibrahim | 1981 * /20 - 10/31 | Physical Planning Sub Directorate, Directorate Urban Development, Ministry of Home Affairs | Jalah Merdeka Utara 7, Jakarta |
| Mr. Fattah Abdullah | 1980 7/23 - 9/29 | Municipality of Ujung Pandang, Bappeda Ujung Pandang | JL. Balaikota No. 9, Ujung. Pandang |
| Mr. Muhamad Muslin Sisuosudarmo | 1978 8/18 - 10/21 | Head, Provincial Public Works Department | JLN, T.N.I. Tikala Manado |
| Mr. Haryono Sudiarto | 1976 10/15 - 12/18 | Official of Directorate of Regional & City Planning, Ministry of Public Works | Jalan Radan Parah 1, Kebayoran Baru, Jakarta, Selatan |
| Mr. Sriyanto | 1975 10/16 - 12/12 | Chief of Semarang City Planning, Bappeda, Semarang, Physical & Information Planning | JL, Dr. Wahidin 50, Semarang, Central Java |
| Mr. Enan Romdani Sahim | 1974 10/20 - 12/12 | Chief of Public Work Office of Kabupaten Tangerang, Ministry of Home Affairs | JL, Madrasah 85, Derendeng, Tangerang |
| Mr. Siswara Wiramihardja | 1973 11/ 4 - 12/20 | Head of Planning Division of Directorate of City and Regional Planning, Ministry of Public Works | Jalan P.A.M. Baru 11/4, Pejompongan, Jakarta |

| Name | Duration | Organization and Position | Address |
|------------------------------------|--------------------|---|---|
| Mr. Wiraduria Rachmat | 1970 11/17 - 11/26 | Director General of Housing, Building Planning & Urban Development, Ministry of Public Works | Djalan Surabaja 46, Jakarta |
| Mr. Purwotenojo Harsono | 1966 9/3 - 11/23 | Senior Staff Architect and Head of the Operation Section, Directorate of Housing Department of Public Works | Tulodong 13, Kepajoran Baru, Jakarta |
| Mr. Peng Goan Lim | 1966 9/3 - 11/23 | Head of the Planning & Design Division, Directorate of Housing, Ministry of Public Works | Tjipaganti 24, Bandung |
| Mr. Roeslan Widarbo | 1966 9/3 - 11/23 | Technical Adviser to Minister of Public Works | D.I. Anggrek Nelli Murni 100A Block A, Slipi, Jakarta |
| Mr. Sujono | 1965 11/6 - 3/5 | Planning Officer, Directorate of Urban & Regional Planning | Djalan Anggrek Neii Muri |
| Mr. Soeparto Roendarijak Ardjoerti | 1965 11/9 - 3/8 | Architect Designer in Housing, Directorate of Housing | Deperdajam Complex No. 7 FDJL, Pasar Minggu Jakarta |
| Mr. Lachridra Mohamaid | 1964 10/30 - 3/29 | Chief, Planner Section, Directorate of Urban & Regional Planning | Perumahan Ksaprofoa Medan P., Brajan No. 5, Medan |
| Mr. G. Sumapradja | 1963 9/7 - 1/6 | Chief of the Extension Service, Directorate of Telecommunications | Dj. Leuser 66A/FITI |
| Mr. G. Ranadireksa | 1962 10/23 - | Telephone Service Officer, Directorate of Telecommunications | c/o R. Coernawan Dji. Gunung Sauari 3, No. 9, Jakarta |

**LIST OF PARTICIPANTS IN
COMPREHENSIVE URBAN TRANSPORTATION PLANNING
(PHILIPPINES)**

| Name | Duration | Organization and Position | Address |
|------------------------------|--------------------|--|--|
| Ms. Salud S.P. Ilacad | 1986 10/ 9 – 12/ 6 | Supervising Transport Development Officer, Department of Transportation & Communications | 28-E Baler St., San Francisco del Nonte, Quezon City |
| Mr. Esteban Q. Cases, Jr. | 1985 10/10 – 12/ 7 | Deputy Director, Transport Training Center University of the Philippines, Diliman | #47-B (Apt. #18) V. Kalaw Tierra, Bella Subdivision Tandang Sora Diliiman, Quezon City |
| Mr. Margarito C. Cabadsan | 1984 10/11 – 12/ 8 | Economic Development Specialist, Programme Coordination Division, National Economic & Development Authority | HV. 6 Arcade Subangdaku, Mandave City, Cebu |
| Mr. Arnel Manresa | 1983 10/13 – 12/10 | Development Officer, Planning, Department of Transportation and Communication | Ortigas Ave. Pasig, Manila ESLA Urban Homes |
| Mr. Rolando Altura Malacaman | 1981 10/16 – 12/12 | Economic Development Specialist, Infrastructure Staff, National Economic & Development Authority | P O. Box 1116, Manila |
| Mr. Adelaida S. Oblac | 1980 2/28 – 4/27 | Senior Transportation Div. Officer, Urban Transportation Div., Department of Transportation & Communications | Philcomcen Bldg., Ortigas Ave., Pasig, Metro Manila |

**LIST OF EX-PARTICIPANTS IN
CITY PLANNING
(PHILIPPINES)**

| Name | Duration | Organization and Position | Address |
|------------------------------|--------------------|---|---|
| Mr. Victoria A. Eugenio | 1982 8/12 - 10/23 | Research Associate, Research and Publication Division, Institute of Environmental Planning | University of the Philippines Diliman, |
| Mr. Lorna B. Borja | 1979 9/27 - 12/ 1 | Deputy Regional Supervisor, Regional Operations Human Settlements Regulatory Commission | Goodwill Bldg., Buendia Ave., Ext., Makati |
| Mr. Ricardo Diaz | 1978 8/18 - 10/21 | Department of Transportation Communications | Bonifacio Dr., Port Area, Manila |
| Mr. Fernando Punzalan, Jr. | 1976 18/20 - 12/18 | Building Inspector, Department of Engineering | Quezon City Hall, MMC New City Hall, Diliman, Quezon City |
| Ms. Maria Lourdes Catolico | 1975 10/16 - 12/12 | Project Officer, Task Force on Human Settlements Development, Academy of the Philippines | 44-A Rd. 13, Pagasa, Quezon City |
| Mr. Vicente Ocampo De Guzman | 1974 10/20 - 12/12 | Civil Engineer, Dept. of Local Government & Community Development | Jaen, Nueva Ecija |
| Mr. Edbardo M. Jarencio | 1966 9/16 - 12/ 7 | Chief of Building, Estimate & Specifications Section, Bureau of Construction, Department of Public Works & Highways | Q5 - J, Banuyo St., Quirino District, Quezon |
| Mr. Felizardo Ocomer Gubatan | 1966 9/24 - 12/23 | Instructor in Architecture, Bureau of Design, Department of Public Works & Highways | 121, Chico St., Quirino District, Quezon |
| Mr. Edilberto Cruz Pascual | 1965 11/ 5 - 3/ 4 | Senior Architect, Architectural Division, City Engineer's Office, Department of Engineering & Public Works | 1, Buenaentra St., Navotas, Rizal |

| Name | Duration | Organization and Position | Address |
|-------------------|----------|--|---|
| Mr. M.M. Sikat | 1963 | Architect, Bureau of Design, Department of Public Works & Highways | 2133, Sma trinidad, Sampaloc, Manila |
| Mr. F.C. Batula | 1963 | Planning Aide, Bureau of Construction, Department of Public Works & Highways | 2637-E.P., Villanueva, Pasay City |
| Mr. F.J. Bautista | 1962 | Architect City Engineer Affairs, Bureau of Design, Department of Public Works & Highways | c/o Mrs. Leandra C. Bautista-12 Zobel Poxas, Makati, Pail |
| Mr. PhN. Ylacan | 1962 | Supervising Project Architect, Architectural Division, Department of Public Works & Highways | 35, Roosevelt Ave., S. Farm, Quezon City |

JICA